

長岡聾学校 通級指導教室(本校、小出分教室)の紹介

1 教室設置の経緯

難聴のある子どもたちの多くは、居住学区の小学校に入学すると、近隣地域の「きこえの教室」や「ことばの教室」への通級を開始します。そこで発音やきき取りの練習、教科の補充学習などの支援を受けています。以前「きこえの教室」が設置されているのは小学校のみでした。平成8年度当時長岡市では「ことば・きこえの教室」の保護者の皆さんが、「中学生になっても支援してくれる場がほしい」と訴え、中学生の支援についての学習会を開き、行政への働きかけを続けた結果、5年後の平成13年度に「中学生のための難聴通級指導教室」が開設される運びとなりました。文部省(当時)の第7次定数改善計画が偶然にも重なり、教室は長岡聾学校に設置されました。

2 運営の基本方針

- ・通常の学校に在籍する難聴のある子どもたちを対象とし、在籍する学校での適応を支援することを目的とする。
- ・保護者や在籍校の担当者との連携を重視し、必要な情報提供に努める。
- ・センター的機能をもつ聾学校として、難聴のある児童生徒の在籍校を中心に支援の啓発に努める。

3 主な指導・相談内容

- ・自己理解の促進 … 難聴に関する知識を得ることと、自分を振り返る機会の設定
- ・聴覚管理 …………… 聴力測定による聴力の特徴の確認、補聴器や補聴システムのメンテナンスや相談
- ・聴覚学習、発音 … 聞き取り能力の向上と安定、よりなめらかな発音
- ・コミュニケーションの学習 … 会話場面でのスムーズな応答
- ・進路に関する学習 … 進路選択に関わる情報提供、高校入試での配慮申請の相談、面接練習、リスニング対策
- ・教科の補充学習 … 希望のある教科を中心に、教科の基本事項の確認

4 サテライト指導・相談

平成14年からは、県立学校内に設置された通級指導教室として、長岡市とその近隣だけでなく、中越地域全体の難聴のある児童生徒への教育相談活動を実施するために「サテライト指導・相談」を開始しました。これは「難聴学級」や「難聴通級指導教室」をもたない地域の教育委員会やことばの教室設置校の協力を得て、定期的に教育相談活動を実施するものです。居住学区の学校で学ぶ難聴のある児童生徒およびその保護者等、さらに難聴のある児童生徒の在籍校のニーズに応えるものであり、センター的機能を担う1つの取り組みです。方法としては、言語通級設置校を会場としたり児童生徒在籍校への訪問を行います。その内容は、相談業務、学習参観、個別面談、聴力測定、補聴器のメンテナンスなどが挙げられます。

5 小出分教室内への通級指導教室の設置

令和元年からは、県立小出特別支援学校内の長岡聾学校小出分教室に通級指導教室が設置されました。これは、上記のサテライト指導・相談を行っていた魚沼市と南魚沼市からの依頼で、より充実した指導を行うために設置されました。「運営の基本方針」「主な指導内容・相談内容」は本校とほぼ同様です。また、サテライト訪問による指導・相談も本校と同じく設置教育委員会の旅費負担により、実施されています。